

令和5年度 学校評価 について

学校評価は、学校運営や教育活動について重点目標を設定し、その達成状況や取り組みの適切さを評価することにより、組織的、継続的な改善を図ることを目的としています。

本校では、毎年4月から5月にかけて重点目標と評価項目を学校評価委員会にて決定し、その内容に沿った教育に取り組んでいます。令和5年度は、年間2回（8月、1月）教員による自己評価を行い、さらに保護者の皆様を対象にしたアンケート調査（1月）を実施いたしました。保護者については596名（在籍の46%）の方からご回答を頂戴いたしました。

その集計結果を受けて考察・分析し、令和6年3月7日には、PTA役員様ご出席のもと、学校関係者評価委員会を開催いたしました。

以下に、委員会等を経てまとめた資料を掲載いたします。

目 次

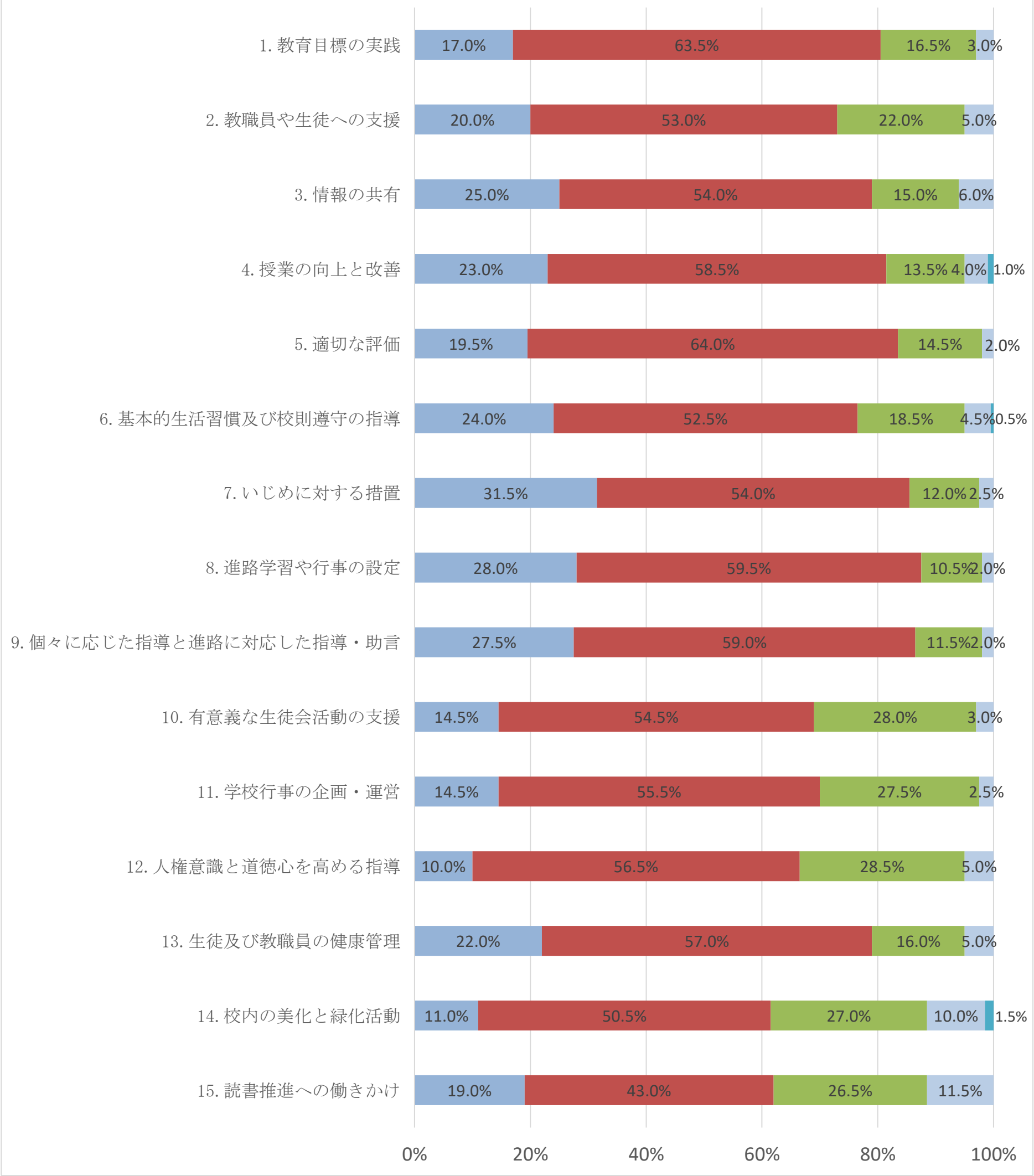
- 2頁 教員自己評価の結果 【教職員：平均】5段階評価値とグラフ
- 3頁 保護者アンケートの結果 【保護者：全学年】5段階評価値とグラフ
- 4頁 学校評価集計結果の考察概要

令和5年度 学校評価【教職員：平均】

教育目標		人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。							
教育方針		(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性或進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。							
		(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。							
		(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。							
5：よくあてはまる　4：だいたいあてはまる　3：ややあてはまる　2：あまりあてはまらない　1：全くあてはまらない									
評　　価　　項　　目				令和5年度評価					
				5	4	3	2	1	平均
学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	平均	17.0%	63.5%	16.5%	3.0%	0.0%	3.9
			1回目	23.0%	64.0%	10.0%	3.0%	0.0%	4.1
			2回目	11.0%	63.0%	23.0%	3.0%	0.0%	3.8
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	平均	20.0%	53.0%	22.0%	5.0%	0.0%	3.9
			1回目	25.0%	52.0%	19.0%	4.0%	0.0%	4.0
			2回目	15.0%	54.0%	25.0%	6.0%	0.0%	3.8
	3	各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	平均	25.0%	54.0%	15.0%	6.0%	0.0%	4.0
			1回目	26.0%	56.0%	12.0%	6.0%	0.0%	4.0
			2回目	24.0%	52.0%	18.0%	6.0%	0.0%	3.9
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	平均	23.0%	58.5%	13.5%	4.0%	1.0%	4.0
			1回目	25.0%	64.0%	10.0%	0.0%	1.0%	4.1
			2回目	21.0%	53.0%	17.0%	8.0%	1.0%	3.9
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	平均	19.5%	64.0%	14.5%	2.0%	0.0%	4.0
			1回目	19.0%	68.0%	13.0%	0.0%	0.0%	4.1
			2回目	20.0%	60.0%	16.0%	4.0%	0.0%	4.0
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	平均	24.0%	52.5%	18.5%	4.5%	0.5%	4.0
			1回目	26.0%	53.0%	19.0%	2.0%	0.0%	4.0
			2回目	22.0%	52.0%	18.0%	7.0%	1.0%	3.9
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	平均	31.5%	54.0%	12.0%	2.5%	0.0%	4.1
			1回目	35.0%	53.0%	10.0%	2.0%	0.0%	4.2
			2回目	28.0%	55.0%	14.0%	3.0%	0.0%	4.1
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	平均	28.0%	59.5%	10.5%	2.0%	0.0%	4.1
			1回目	31.0%	58.0%	10.0%	1.0%	0.0%	4.2
			2回目	25.0%	61.0%	11.0%	3.0%	0.0%	4.1
	9	個々の適性或能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができている	平均	27.5%	59.0%	11.5%	2.0%	0.0%	4.1
			1回目	33.0%	54.0%	12.0%	1.0%	0.0%	4.2
			2回目	22.0%	64.0%	11.0%	3.0%	0.0%	4.1
特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	平均	14.5%	54.5%	28.0%	3.0%	0.0%	3.8
			1回目	20.0%	54.0%	25.0%	1.0%	0.0%	3.9
			2回目	9.0%	55.0%	31.0%	5.0%	0.0%	3.7
	11	生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	平均	14.5%	55.5%	27.5%	2.5%	0.0%	3.8
			1回目	15.0%	60.0%	23.0%	2.0%	0.0%	3.9
			2回目	14.0%	51.0%	32.0%	3.0%	0.0%	3.8
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	平均	10.0%	56.5%	28.5%	5.0%	0.0%	3.7
			1回目	12.0%	58.0%	26.0%	4.0%	0.0%	3.8
			2回目	8.0%	55.0%	31.0%	6.0%	0.0%	3.7
保健衛生	13	感染症防止対策の徹底や安全教室の実施、生徒及び教職員の健康管理に努めている	平均	22.0%	57.0%	16.0%	5.0%	0.0%	4.0
			1回目	24.0%	56.0%	17.0%	3.0%	0.0%	4.0
			2回目	20.0%	58.0%	15.0%	7.0%	0.0%	3.9
環境美化	14	校内の清掃美化と緑化活動に積極的に行っている	平均	11.0%	50.5%	27.0%	10.0%	1.5%	3.6
			1回目	13.0%	53.0%	24.0%	10.0%	0.0%	3.7
			2回目	9.0%	48.0%	30.0%	10.0%	3.0%	3.5
学校図書館	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	平均	19.0%	43.0%	26.5%	11.5%	0.0%	3.7
			1回目	21.0%	43.0%	27.0%	9.0%	0.0%	3.8
			2回目	17.0%	43.0%	26.0%	14.0%	0.0%	3.6
教職員　平　均				20.4%	55.7%	19.2%	4.5%	0.2%	3.9

令和5年度 学校評価【教職員：平均】

■ 5.よくあてはまる ■ 4.だいたいあてはまる ■ 3.ややあてはまる ■ 2.あまりあてはまらない ■ 1.全くあてはまらない



令和5年度 学校評価【保護者：全学年】

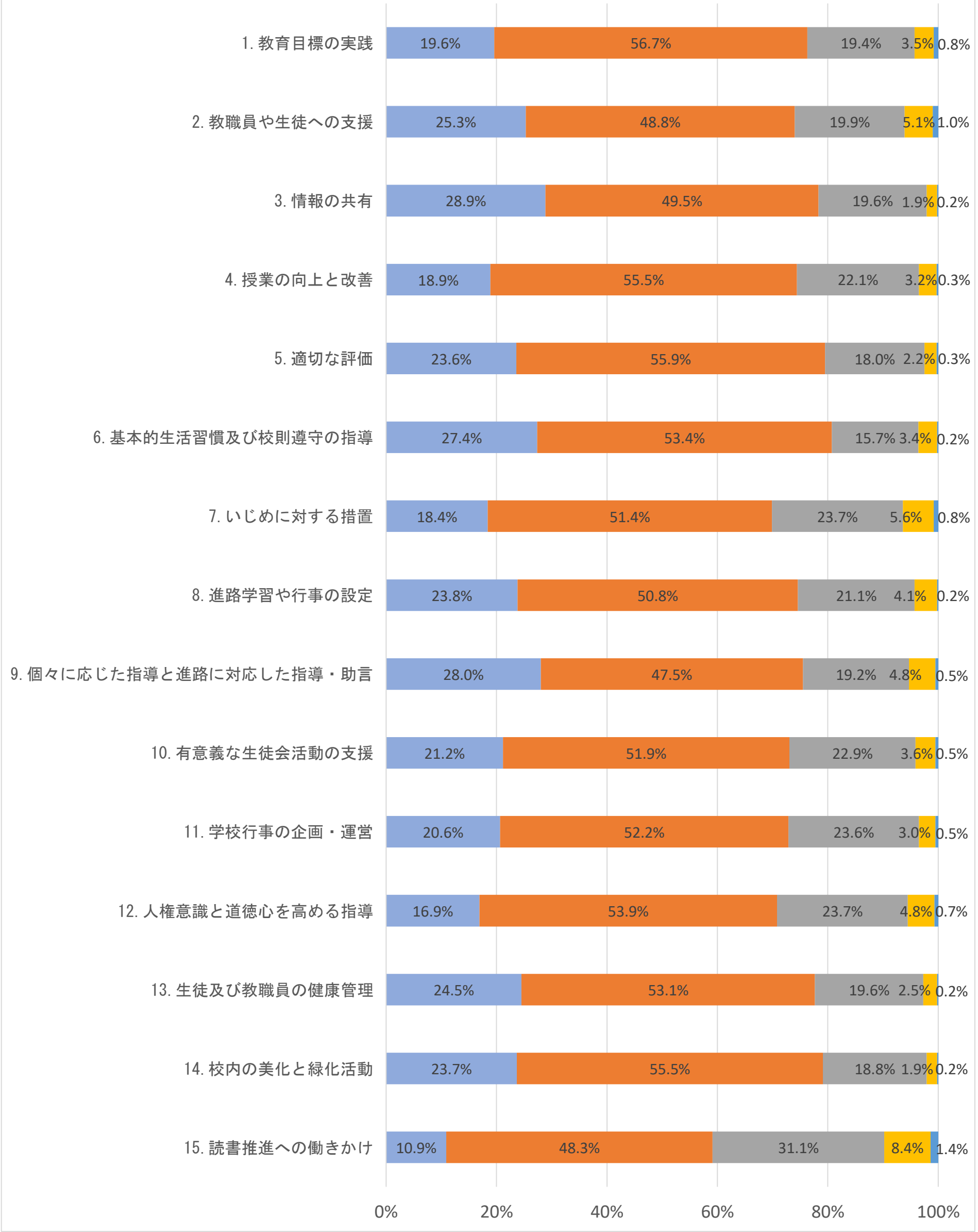
教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。	
教育方針	(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。	
	(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。	
	(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。	

5：よくあてはまる 4：だいたいあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

評 価 項 目			学年	令和5年度評価					
				5	4	3	2	1	平均
学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	全学年	19.6%	56.7%	19.4%	3.5%	0.8%	3.9
			3学年	27.3%	46.1%	22.1%	3.2%	1.3%	3.9
			2学年	15.9%	58.5%	22.1%	3.1%	0.5%	3.9
			1学年	17.6%	61.9%	15.6%	4.1%	0.8%	3.9
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	全学年	25.3%	48.8%	19.9%	5.1%	1.0%	3.9
			3学年	31.2%	42.9%	18.2%	6.5%	1.3%	4.0
			2学年	23.5%	48.5%	23.0%	4.1%	1.0%	3.9
			1学年	23.0%	52.9%	18.4%	4.9%	0.8%	3.9
	3	各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	全学年	28.9%	49.5%	19.6%	1.9%	0.2%	4.1
			3学年	35.3%	39.9%	20.3%	4.6%	0.0%	4.1
			2学年	26.2%	52.3%	20.5%	0.5%	0.5%	4.0
			1学年	27.0%	53.3%	18.4%	1.2%	0.0%	4.1
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	全学年	18.9%	55.5%	22.1%	3.2%	0.3%	3.9
			3学年	24.2%	49.0%	23.5%	3.3%	0.0%	3.9
			2学年	16.3%	57.1%	22.4%	3.6%	0.5%	3.9
			1学年	17.6%	58.2%	20.9%	2.9%	0.4%	3.9
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	全学年	23.6%	55.9%	18.0%	2.2%	0.3%	4.0
			3学年	29.2%	52.6%	16.2%	1.3%	0.6%	4.1
			2学年	21.9%	56.1%	18.9%	2.6%	0.5%	4.0
			1学年	21.3%	57.8%	18.4%	2.5%	0.0%	4.0
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	全学年	27.4%	53.4%	15.7%	3.4%	0.2%	4.0
			3学年	30.9%	50.7%	16.4%	2.0%	0.0%	4.1
			2学年	26.0%	54.6%	14.3%	4.6%	0.5%	4.0
			1学年	26.2%	54.1%	16.4%	3.3%	0.0%	4.0
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	全学年	18.4%	51.4%	23.7%	5.6%	0.8%	3.8
			3学年	19.5%	48.1%	24.7%	7.1%	0.6%	3.8
			2学年	17.0%	54.6%	21.6%	6.2%	0.5%	3.8
			1学年	18.9%	51.0%	24.7%	4.1%	1.2%	3.8
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	全学年	23.8%	50.8%	21.1%	4.1%	0.2%	3.9
			3学年	37.0%	40.9%	16.2%	5.8%	0.0%	4.1
			2学年	19.0%	52.3%	23.6%	4.6%	0.5%	3.8
			1学年	19.3%	56.0%	22.2%	2.5%	0.0%	3.9
	9	個々の適性や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができている	全学年	28.0%	47.5%	19.2%	4.8%	0.5%	4.0
			3学年	41.2%	35.9%	16.3%	5.9%	0.7%	4.1
			2学年	22.2%	52.6%	21.1%	3.6%	0.5%	3.9
			1学年	24.4%	50.8%	19.4%	5.0%	0.4%	3.9
特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	全学年	21.2%	51.9%	22.9%	3.6%	0.5%	3.9
			3学年	29.2%	42.9%	24.0%	3.9%	0.0%	4.0
			2学年	17.1%	58.0%	19.7%	4.7%	0.5%	3.9
			1学年	19.3%	52.7%	24.7%	2.5%	0.8%	3.9
	11	生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	全学年	20.6%	52.2%	23.6%	3.0%	0.5%	3.9
			3学年	27.3%	45.5%	24.0%	3.2%	0.0%	4.0
			2学年	18.5%	55.9%	21.0%	4.1%	0.5%	3.9
			1学年	18.1%	53.5%	25.5%	2.1%	0.8%	3.9
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	全学年	16.9%	53.9%	23.7%	4.8%	0.7%	3.8
			3学年	22.2%	47.7%	24.8%	5.2%	0.0%	3.9
			2学年	16.2%	55.5%	22.0%	5.8%	0.5%	3.8
			1学年	14.0%	56.6%	24.4%	3.7%	1.2%	3.8
保健衛生	13	感染症防止対策と安全教室、生徒及び教職員の健康管理に努めている	全学年	24.5%	53.1%	19.6%	2.5%	0.2%	4.0
			3学年	30.7%	47.7%	19.0%	2.6%	0.0%	4.1
			2学年	23.1%	56.9%	17.4%	2.1%	0.5%	4.0
			1学年	21.8%	53.5%	21.8%	2.9%	0.0%	3.9
環境美化	14	校内の清掃美化や緑化活動に積極的に行っている	全学年	23.7%	55.5%	18.8%	1.9%	0.2%	4.0
			3学年	27.3%	53.9%	17.5%	1.3%	0.0%	4.1
			2学年	23.8%	55.4%	17.6%	2.6%	0.5%	4.0
			1学年	21.3%	56.6%	20.5%	1.6%	0.0%	4.0
学校図書館	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	全学年	10.9%	48.3%	31.1%	8.4%	1.4%	3.6
			3学年	12.4%	50.3%	28.8%	8.5%	0.0%	3.7
			2学年	10.4%	45.8%	32.8%	8.9%	2.1%	3.5
			1学年	10.4%	49.0%	31.1%	7.9%	1.7%	3.6
全学年 平均				22.1%	52.3%	21.2%	3.9%	0.5%	3.9

令和5年度 学校評価【保護者：全学年】

■ 5.よくあてはまる ■ 4.だいたいあてはまる ■ 3.ややあてはまる ■ 2.あまりあてはまらない ■ 1.全くあてはまらない



令和５年度 学校評価集計結果の考察概要

学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組む、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	令和４年度より義務付けられている３つのスクールポリシーを定めている。さまざまな教育活動の際に、スクールポリシーを常に意識した活動目標を設定することが困難であった。教職員全員で同じ意識を持ち教育活動することが必要であったと思われる。アフターコロナという急激な変化に合わせてスクールポリシーの見直しを行い、教職員だけでなく生徒や保護者も共通意識を持てるように改善していきたい。
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	週１回のペースでスクールカウンセラーが来校することで、生徒の問題や悩みに対応し、また担任のサポートも行なっている。複数の生徒が何度も利用しているケースも見受けられる。対人関係のトラブルやいじめなどの問題の背景には、「発達」に関係している可能性も多少あると考えられる。２学期からはスクールソーシャルワーカーも来校するようになったため、今後はスクールカウンセラーとの協力したきめ細かな支援が期待される。
	3	各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	保護者にとっては、英明祭や学級懇談会など来校する機会があり、生徒の活動の様子を直接知ることができたと思われる。また、ホームページやSNSを通じても生徒の活動や取り組みを発信してきたが、今年度より校務支援システム「ツムギノ」を導入し、「ツムギノ」を通じて伝えることもできた。保護者との連絡（欠席連絡など）、便りや成績通知などについても「ツムギノ」に集約された。そのため、「ツムギノ」を利用する頻度が上がり、保護者が便りを見落とすことは減少したのではないと思われる。今回の保護者アンケートでも評価の平均値は他の項目より高い結果となったが、生徒主体の発信が英明祭のみで留まっているので、生徒主体による魅力発信を今後は検討していきたい。
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	２年目の新教育課程を実施するなかでICTを前提とした授業が常態化してきた。保護者の「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた評価（74.4%）が昨年度と比べて微増（約2%）したこと、また「あまりあてはまらない」が微減したことは教材研究や授業形態の工夫の点で前進していると思いたい。しかしながら、教員の評価（81.5%）と少なくないギャップがあることについては、保護者のコメントに散見される授業規律等の統率力や指導技術といったスキルが関連していると思われる。引き続き、これらのスキル向上の必要性を強く感じている。
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	昨年度から同一コース内で定期試験の出題範囲・内容・課題の統一をしたり、日々の授業中の評価対象を揃えたりして観点別評価を実施してきた。また、各教科ごとに教科主任を中心にして見直しを図っているため、ほぼ8割の保護者から「だいたいあてはまる」以上の評価を得たことは報われる結果である。また、多大な労力を要している学習評価については、生徒の学力向上や学習改善につながっているとは言い難しく、授業（指導）改善に反映するよう今後検討していきたい。
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	令和５年度は遅刻を減らすことと清潔感のある服装を心がけることに重点を置いた。遅刻に関してはタイムリーな指導を意識し、毎日の放課後遅刻指導を実施して、対話を通して時間を守る大切さを時間をかけて説いた。結果として波はあるものの遅刻者数は平均して各クラスに一人いるかどうかくらいまで減少した。服装等については担任指導を軸としながら不定期の身だしなみ指導を実施しているが指導を要する生徒はまだ多い。防寒着については昨年度から段階的に緩和しているが、特に大きな問題となるようなことはない。指摘にある通り教員間での温度差は今後も課題であり、統一した指導を心がけていきたい。
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	年に２回実施している「いじめ悩みアンケート」において、いじめに関わるような内容を記載している生徒については個別に対応してきた。また、「スクールサイン」で事前にいじめの芽を紡ぐようにもしてきた。クラスで人間関係や紛失等のトラブルが起こった場合はクラスアンケートを実施したり、クラス全員から聞き取りを行う等の対策をとったりしてきたが、数件のいじめ認知・認定があった。特に学年団との連絡を密に取り、時にはいじめ防止対策委員会を実施して学校全体として取り組んできた。来年度も早期にトラブルを発見し、より注意深く生徒の様子を見守っていききたい。
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	学年ごとに適した内容・時期を考慮し、進路ガイダンスや講演会を行った。Web・対面双方での学校説明会や小論文ガイダンスを全体で実施するとともに、コースごとの特徴に合わせた推薦対策講演会や文理選択のガイダンスを企画・実施した。しかしながら、アンケートの結果には、生徒の関心、意欲を喚起しているとはいえないとの意見があり、保護者の中には進路について不安を抱いている方がいると考えられる。今後も網羅的な内容で全体をカバーするとともに、個別最適化も考えた取り組みをしていきたい。就職では、ガイダンスや面接講習会で意識向上に繋げることができた。昨年に続き今年度も企業の方や公務員関係の方を招いたガイダンスが実施できたので、就職への意欲を高めることができた。
	9	個々の適正や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができている	将来の職業を学問や進路に結び付けられるようにするきっかけとして、１・２年生で適性診断を実施している。進学希望者には、習熟度別授業や課外講座、各種模試などを実施し、進路達成に向けての指導を行った。また、総合型選抜や学校推薦型選抜など受験種別に応じて、個別指導の機会を増やし強化したため、昨年度よりも「よくあてはまる」と回答した保護者も多く見られた。今後も要所要所で進路に関する有益な情報を提供し、意識づけを継続したい。就職希望者にも、就職課外、適性検査、応募前職場見学などで個々の適性や希望に応じた指導を行っている。特に就職課外では、早期から進路選択の意識付けを行った。さらに、生徒の進路に合わせ、面接や小論文の指導にも担任と進学指導、就職指導が協力している。

特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	部活動に加入する生徒を増加させようと、今年度新たに部活動見学ツアーを企画した。実施内容に課題点が多くあり、加入者の大幅な増加にはつながらなかった。また、総体壮行会や英明祭などの行事についても、少しずつ今までと違う行事にしようと新しいことに挑戦してきた。そのような取り組みの姿勢を評価していただけたように思う。今後も少しずつ挑戦をしながら、よりよい方向へと変化していきたい。設備面に関して改善を要望する保護者の厳しい声もあった（体育館のクーラー設置、運動部の使用しているバスなど）。
	11	生徒が積極的に協働してして取り組めるような学校行事を企画・運営している	能登半島地震の募金活動では、10日間という短い期間にもかかわらず、各クラスの代議員が積極的に呼びかけてくれた。その結果、予想していた額の倍近い7万円を超える募金を校内で集めることができた。また、令和３年度から英明祭で実施しているフードドライブでは今年度も多くの食品を集めることができた。一部の生徒だけが積極的に行うような活動よりも、多くの生徒が少しずつ関わることができるボランティア活動の方が本校には合っているように感じている。
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	道徳観、人権意識の育成を目的とし多様なテーマを設定したLHRを実施し、生徒一人ひとりの意識の向上につながるよう適切な指導に努めた。新型コロナの5類移行後は、オンラインと一斉の両方の形の講演会を状況によって使い分けることで、感染症の拡大を防ぎながら効果的に実施することができた。また、特別活動については「学校内でやっていることが見えないので評価ができない」というコメントも寄せられた。LHRで実施した内容を家庭に持ち帰り、保護者の方から意見・感想を頂戴するなどの取り組みを今後検討したい。
保健衛生	13	感染症防止対策の徹底や安全教室の実施など、生徒及び教職員の健康管理に努めている	新型コロナが5類移行後も感染対策のためにマスクを着用する生徒が多く見られた。しかし年度後半になりインフルエンザ感染者が非常に増加したことが今後の感染対策の課題と言える。学校という集団生活の場では、ある程度の感染対策のルールを設置しても良いのではないと思う。生徒の保健室利用状況は頭痛・腹痛での利用が多いが気分不良での利用者も相変わらず多い。そのため本来優先的に利用すべき生徒が利用できてない場合も見受けられた。保健室利用のルールも今後の課題としてしっかりと考えていかなくてはいけない。教職員の健康管理においては、ストレスチェックの活用や健康相談の利用など、働く側の健康サポートが今後の大きな課題となってくる。
	14	校内の清掃美化や緑化活動を積極に行っている	日々の清掃活動が定着せず、場所によって清掃の質に差があるということを指摘をされている。生徒が校内美化に積極的に参加し、奉仕の心を育むために環境美化に関する活動や学習を取り入れて意識向上を高めたい。また緑化活動については、生徒の積極的な取り組みが見られ、今後も季節ごとの花の植え替えなど活動を増やしていきたい。
学校図書	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	今年度の取り組みとして、１年生にのみ学級文庫を設置した。今後も１年生には全学級、希望があれば２年生でも継続したいと思うが、数が非常に多いので無理のない範囲で進めていきたい。図書館発信の情報学習の一環として、新聞のオンライン利用サービスの導入を検討している。探究活動や小論文対策に学級単位で利用できるサービスなので、前向きに考えたい。図書委員会は一年生をみの活動だが、図書が好きな生徒が２・３年生になっても携われるような仕組みを作る予定である。少しずつではあるが、活動の幅を広げていきたい。